

議 事 録

件 名	第 3 回町田第三小学校跡地活用連絡協議会	
日 時	2025 年 12 月 24 日（水）10:30～11:40	
場 所	町田第三小学校西校舎 2 階 会議室	
出席者	委 員	グランリビオ町田ガーデンコート自治会
		首都高速道路自治会
		新小田急住宅自治会
		千代ヶ丘自治会
		日向台自治会
		本町田町内会（3 名）
		弥生ヶ丘自治会（2 名）
		町田市青少年健全育成本町田地区委員会
		町田市民生委員児童委員協議会町田第二地区
	※ 欠席：町田第二地区町内会・自治会連合会、東ヶ丘住宅自治会、本町田町内会（1 名）	
町田市	政策経営部企画政策課	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議事次第</li> <li>・ 【資料 1】 第 2 回町田第三小学校跡地活用連絡協議会議事録</li> <li>・ 【資料 2】 まちさんかいぎ開催レポート</li> <li>・ 【資料 3】 まちさんかいぎ 2 参加者募集チラシ</li> <li>・ 【参考資料】 投影資料、席次</li> </ul>	
議 事 録 (敬称略)	<p>市：ただいまより「第 3 回町田第三小学校跡地活用連絡協議会」を開催する。初めに、事務連絡となるが、本日の連絡協議会は、記録作成のため、録音、写真撮影をさせていただきたくので、ご了承いただきたい。次に、配付資料は資料 1 から 4 の 4 点と、参考として投影資料、席次の 2 点を配付している。次に、本日の連絡協議会の進め方だが、事務局より、次第に沿って説明させていただく。最後に意見交換の時間も設けているが、質問や意見などがあれば、いつでも遠慮なく発言いただきたい。それでは、はじめに、企画政策課公共施設再編担当課長より、ご挨拶を申し上げる。</p> <p>&lt; 1 はじめに &gt;</p> <p>▶ あいさつ（町田市企画政策課公共施設再編担当課長）</p> <p>市：9 月に実施した第 2 回連絡協議会では、町田第三小学校跡地の活用の方向性とコンセプトを説明させていただいた。その後、10 月に町田第三小学校跡地活用ワークショップ「まちさんかいぎ」を実施した。当日は子ども 20 名を含む総勢 50 名が参加し、多くの方に町田第三小学校の跡地活用について考えてもらうことができたと思っている。また、町田第三小学校跡地のコンセプトとして、「まちさんプレイス」をお示しした。地域の皆様が活動でつながれる場を目指している。2026 年 1 月には跡地の日常の使い方と災害時の使い方をテーマとした 2 回目のワークショップも開催予定であり、地域の皆様には引き続き跡地活用の検討に関わってい</p>	

ただきたい。跡地活用の方向性を示すコンセプトブックを2025年度中に作成する予定である。跡地活用の方向性が視覚的に伝わるよう工夫しており、より多くの地域の皆様にご覧いただきたい。今後ともご理解とご周知をお願いしたい。

## < 2 前回のふりかえり【資料1】 >

議事の2～5について、資料1～4及び投影資料を用いて市から説明した。主な説明については以下のとおり。

市：第2回連絡協議会では、市が作成した跡地活用のコンセプト素案「活動でみんながつながれる場“まちさんプレイス”」について紹介し、町田第三小学校跡地の日常の使い方として、①「だれでも自由に使える広場」機能、②「さまざまな体験・活動ができる広場」機能、③「みんながつながれる地域の居場所」機能の3つの役割としていくことを説明した。

また、意見交換では委員からも校舎を壊さず使う方法はないのか、建物の健全性調査はしていないのかというご質問をいただいたが、この点は2026年度に策定する基本計画の中で整理していくとご説明をさせていただいた。健全性調査については、庁内の所管部署に確認したところ、学校統合にあたり、町田第三小学校は校舎を壊す前提だったため、行っていないことが分かった。

いずれにしても、現校舎を長期的に活用することは難しいと考えており、維持管理費用も考慮した適切な大きさの建物を跡地には整備していきたいと考えている。その他、日向台北公園を駐車場として使えないかというご意見もいただいたところである。

## < 3 ワークショップの開催【資料2・3】 >

市：10月26日（日）に今年度第1回目となるワークショップ「まちさんかいぎ」を開催した。多くの委員の方にもご参加いただき、感謝申し上げる。ひろばを含む地域の居場所でどのようなことができるかを考えるワークショップで、町田第三小学校の在校生も含め50名が参加した。

大人向けの講演では、小山田桜台で子ども食堂などの運営をしている「みんなの子ども食堂さくらんぼう」の森下さんから、ひろばなどを使った地域の居場所づくりの取り組みに関する講演をいただき、横浜市立大学で「居場所」としての都市空間の在り方に関する研究をしている三輪先生からは、ひろばなどの地域の居場所があることの大切さについての講演をいただいた。

森下さんからは、「親や学校以外のつながりを作ることが大切」といったお話、三輪先生からは「ちょっと寄れるという積み重ねがその人の居場所となり、その居場所を使う人が担い手となっていく好循環が生まれていくとよい」といったお話など、今後の町田第三小学校跡地の居場所を作っていくうえでヒントとなるお話をいただいた。

子ども向け体験としては、大きな町田第三小学校の地図にやりたいことを書いてもらった。子どもたちからは、「友達と」、「みんなで」といったキーワードが多くあがった。そのほか、ひろばなどの地域の居場所をイメージした空間体験も実施し

議事録  
(敬称略)

た。

また、委員の皆様には地域での周知を依頼しているところだが、1月17日(土)には「まちさんかいぎ2」を開催する。今回は日常と災害時の2つの場面の使い方を考える内容となっている。特に災害時において、避難施設としてどのように活用するのかといった声もある。この災害時の避難施設については、12月の議会で防災安全部から、「学校跡地における避難施設においては、原則100人程度の収容人数とすること」を報告した。今後の学校統合においてうまれる学校跡地においても、この考え方が基本となる。12月からワークショップの参加者募集を開始しているが、まだ空きがあるので、引き続き地域の方へ参加のお声掛けをいただきたい。

#### < 4 町田第三小学校跡地活用の検討状況 >

市 : 今後のスケジュールだが、3月6日(金)に4回目の連絡協議会を開催する。連絡協議会の委員は年度ごとにご推薦いただいているので、新たな委員の推薦について所属団体宛にご案内させていただく。

また、コンセプトブックを現在作成中である。地域の方とイメージを共有するために作成している。子育て世代や在校生、地域の方など幅広く気軽に手に取ってもらえるような冊子になるよう工夫しているところ。2026年3月中に策定する予定である。

#### < 5 意見交換 >

委員 : 町田第三小学校跡地のゾーニングにおいて、「みんながつながれる地域の居場所」として、新しく建物を整備するとのことだが、現状の町田第三小学校への避難者が500人程度と想定されている中で、なぜ、整備される建物が現状の想定避難者数より少ない100人規模となるのか。

市 : 現在の想定避難者数の約500人から新しく建てる建物の規模である100人程度を引くと約400人収容できないのではないかというご意見だと思う。避難者の受け入れの考え方については、避難施設ごとではなく、地域単位で考えている。現状、本町田ひなた小学校の工事に伴い、ひなた村が新たに避難施設に指定されたが、工事完了後も引き続き避難施設として指定され続けることになっている。今後は自主防災組織の皆様と一緒に避難先を見直すことになると思う。耐震化が進み、東京都が想定する避難者数が従来よりも減っていることも踏まえ、在宅避難者に対する支援も町田第三小学校跡地における防災機能の1つとして考えている。

委員 : 町田第三小学校の収容人数が少なくなると、ひなた村も混雑すると思う。体育館規模である必要はないと思っているが、不安ではある。

市 : 今後の避難者推計も見ながら、建物の規模は検討していきたい。

委員 : 昨年実施したワークショップでは広場を活用した避難の可能性も想定していたと思う。

市 : コロナ禍をきっかけに、テントを活用し、屋外で避難することも考えていた。現在の防災課の見解としては、体育館に加え、校舎なども使用して、屋内で想定避難者

議事録  
(敬称略)

数を収容しきれると考えている。ただ、場合によっては、広場を活用した屋外での避難生活も考えられる。

委員：本連絡協議会で議論すべき内容ではないかもしれないが、ペットを建物に避難させることは難しい。テントなどを活用し、屋外に避難してもらうことも前向きに考えたほうがよい。

市：町田第三小学校跡地の避難施設関係者の中で、ここの避難場所のルールの見直しなどがされるのではないかと思う。

委員：町田第三小学校にどの程度の備蓄物資が配備されるのかも重要だと思う。

市：防災備蓄の数量の確保だけでなく、外からの支援物資が受け入れられるような作りをしていくことも重要だと考えている。

委員：建物規模を決めるうえで、駐車場を作ることができるのかは重要な要素ではないか。

市：民間事業者からは、跡地活用にあたり駐車場は必要という話を聞いている。昨年度実施したワークショップでは、日向台北公園を駐車場として活用する案が出ていた。規模は決まっていないが、駐車場の確保は検討している。

委員：公園の付け替えは都市計画の手続きが大変だと思う。

市：公園の付け替えに都市計画上の手続きが必要になる認識はある。その他、造成工事などの必要性は今後検討していく。

委員：敷地南側の階段はどのように整備するのか。道路にすることはできないか。

市：現状の町田第三小学校は敷地西側だけしか接道しておらず、道路付けが悪い。北側の橋がかけられている通路も接道していない。階段を道路にすることは可能ではあると思うが、整備にお金はかかる。

委員：階段を道路にしたらよいというのはどういう趣旨か。

委員：町田第三小学校跡地にアクセスしやすく便利ではないかと考えたところである。

委員：傾斜が急でスロープにするのは厳しいのではないか。西側の接道箇所からのアクセスで足りるのではないか。

委員：鎌倉街道は大規模災害時に緊急車両専用道路となり、一般車両の往来ができなくなる。鎌倉街道側以外にも緊急車両や物資輸送車が通れるような対応が必要だと思う。

委員：これまでの議論では、敷地北側のエリアの地盤改良は多額の費用がかかるため、浸水しても影響が少ない活用の仕方をしていくという話になっていたはずである。

委員：利便性を考えるのであれば、敷地南側の階段部分も車が通ればアクセスしやすいのではという話であり、敷地西側の接道しているところで車両がすれ違うことができればいいと思っている。

委員：駐車場を敷地内の西側に作るという議論はこれまでなかったはずである。

市：敷地の中に一部駐車場を作った方がよいという意見もあるとは思う。

委員：車いすやベビーカーがアクセスできるよう、建物の近くに車を止められるような場所は必要だと思う。

委員：10月に実施したワークショップでは、中高生の居場所不足について講演者の三輪先生からもご意見いただいているようだったが、中高生の意見を聞く機会を設け

議事録  
(敬称略)

ることを考えているか。また、建物のスペースの活用案について意見できる場があるのか。

市：現時点で中高生の意見聴取は考えていないが、今後の町田第三小学校の卒業生が将来、中高生となっていく。学校と協力して跡地活用について一緒に考える場を設けたいと思っている。

委員：実際に居場所が欲しいと思っている中高生からも意見を聞いてほしい。

市：現在の中高生への意見聴取については今後検討していきたい。三輪先生からも、地域の居場所になるうえで、日常的に使ってもらうことが必要だということや活動が外から見えるようになっていくことが大事だということを知っている。基本計画を策定する際にも、本連絡協議会でご意見をいただく予定である。

委員：視認性の高さの確保やフレキシブルに使える設え、イスの配置など、日常的に使ってもらうためにそういった工夫が必要だと思う。

委員：ベンチなどがあると気軽に座れる。そういったほっとできる場所は必要だと思う。イベントごとに設えを変えられるのは重要である。また、楽器などの練習は家ではしづらい。そういった使い方ができるとよいのではないか。

委員：市がこれまで地域と調整してきたこと、決めてきたことが大きく変わるのは困る。町田第三小学校における防災対策の話は必須である。マンホールトイレは施設の近くに必要だと思う。市議会でも本町田地区に市民センターがないともいっていた。町田第三小学校跡地は多くの子どもが来ることができる場所となってほしい。

市：町田第三小学校跡地は、地域の方の居場所をどのように整備していくのか議論が進んでいるところである。現状、町田第三小学校跡地の活用において、行政需要は避難施設しかないところであり、地域活用の部分については、皆様からご意見をいただきながら進めていきたい。

委員：避難施設機能は当然だが、運動会や盆踊りといった町内会行事ができるようにしたい。

#### < 6 今後の予定 >

市：3月6日（金）の第4回連絡協議会で次年度の委員をご推薦いただく予定である。所属団体の中で推薦委員についてご検討いただきたい。推薦委員の人数などのご相談があれば連絡いただきたい。

#### < 事務連絡 >

市：最後に、事務連絡となる。次回の本連絡協議会については、3月6日（金）を予定している。時間、場所は今回と同じく、10時30分から11時30分、町田第三小学校西校舎2階会議室となる。

以上